



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月6日

上場会社名 株式会社 南陽

上場取引所 東 福

コード番号 7417 URL <https://www.nanyo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武内 英一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長兼経営企画室長 (氏名) 篠崎 学

TEL 092-472-7331

四半期報告書提出予定日 2020年8月7日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	6,848	15.8	335	28.4	383	24.1	250	23.0
2020年3月期第1四半期	8,130	11.3	468	34.5	505	32.5	324	34.4

(注)包括利益 2021年3月期第1四半期 361百万円 (2.0%) 2020年3月期第1四半期 353百万円 (8.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	39.30	
2020年3月期第1四半期	51.01	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	30,643	18,307	59.7
2020年3月期	32,386	18,270	56.4

(参考)自己資本 2021年3月期第1四半期 18,307百万円 2020年3月期 18,270百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		15.00		51.00	66.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)		15.00		33.00	48.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 26円00銭 記念配当 7円00銭

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,500	10.7	450	50.1	500	46.4	330	43.0	51.82
通期	30,500	11.1	1,300	38.6	1,350	38.1	850	38.8	133.49

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	6,615,070 株	2020年3月期	6,615,070 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	247,458 株	2020年3月期	247,458 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	6,367,612 株	2020年3月期1Q	6,367,665 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

・業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページの「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの世界的な流行による生産活動の停滞や米中関係の悪化、中国市場の減速により、厳しい状況の中で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループの連結業績につきましては、概ね計画通りに推移し、売上高は6,848百万円（前年同期比15.8%減）、営業利益は335百万円（前年同期比28.4%減）、経常利益は383百万円（前年同期比24.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は250百万円（前年同期比23.0%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 建設機械事業

建設機械事業におきましては、新型コロナウイルスの流行に伴う需要の低迷、納期遅延、中古機械相場の下落等、厳しい状況が続く中、販売部門においては取引先のニーズに的確に対応しながら、利益率の高い商品の販売や既存取引先の需要の掘り起こしに努めるとともに、レンタル部門においても民需、官需の取り込みに注力してまいりました。しかしながら、新型コロナウイルスの影響により営業活動の自粛を余儀なくされ、全体の案件数が落ち込んだことにより、売上高は2,707百万円（前年同期比6.8%減）、セグメント利益は207百万円（前年同期比23.3%減）となりました。

② 産業機器事業

産業機器事業におきましては、新型コロナウイルス流行の影響による生産活動の停滞や世界経済の鈍化による投資マインドの低下等の影響が見られる一方で、メモリーや5G関連等一部の半導体業界においては堅調に推移する中、テレワークやテレビ会議等も活用しながら、AI、IoTに関連する商品群の拡大に注力するとともに、継続して生産設備の自動化や高度化に関する分野の商品開拓や営業強化にも努めてまいりました。しかしながら、新型コロナウイルスの影響により営業活動の自粛を余儀なくされるとともに、取引先の設備計画が後ろ倒しとなったこと等により、売上高は3,993百万円（前年同期比21.5%減）、セグメント利益は210百万円（前年同期比23.6%減）となりました。

③ 砕石事業

砕石事業におきましては、事業を展開する地域においては、公共工事や民間工事向けの需要が堅調に推移する中、護岸工事等の公共工事並びに鉄道や商業施設関連等の民間工事への営業強化による受注獲得に努めてまいりました。さらには、製造コストの価格転嫁に向けて販売単価の交渉にも努めた結果、売上高は146百万円（前年同期比9.2%増）、セグメント利益は36百万円（前年同期比43.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産は、前連結会計年度に比べ1,743百万円減少（5.4%減）し、30,643百万円となりました。増減の主な内容は、現金及び預金が699百万円増加したものの、受取手形及び買掛金が2,029百万円、商品及び製品が356百万円それぞれ減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度に比べ1,779百万円減少（12.6%減）し、12,336百万円となりました。増減の主な内容は、支払手形及び買掛金が1,496百万円、未払法人税等が261百万円それぞれ減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度に比べ36百万円増加（0.2%増）し、18,307百万円となりました。増減の主な内容は、利益剰余金が74百万円減少したものの、その他有価証券評価差額金が133百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は59.7%と前連結会計年度に比べ3.3ポイント上昇いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルスの流行に伴う影響に関する前提に変更はなく、当第1四半期の業績は、概ね計画どおりに推移しており、業績予想の修正はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,948	6,648
受取手形及び売掛金	9,616	7,586
電子記録債権	2,558	2,521
貸貸料等未収入金	712	561
商品及び製品	2,903	2,546
仕掛品	56	62
原材料及び貯蔵品	9	7
その他	521	650
貸倒引当金	△440	△414
流動資産合計	21,887	20,170
固定資産		
有形固定資産		
貸与資産（純額）	5,757	5,547
その他（純額）	2,647	2,649
有形固定資産合計	8,405	8,196
無形固定資産		
のれん	37	32
その他	50	52
無形固定資産合計	87	85
投資その他の資産		
投資有価証券	1,692	1,883
その他	326	319
貸倒引当金	△12	△11
投資その他の資産合計	2,006	2,191
固定資産合計	10,499	10,472
資産合計	32,386	30,643

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,863	8,367
短期借入金	1,000	1,000
1年内返済予定の長期借入金	66	50
リース債務	481	435
未払法人税等	300	39
賞与引当金	322	136
役員賞与引当金	61	10
割賦利益繰延	201	191
その他	851	984
流動負債合計	13,147	11,214
固定負債		
その他の引当金	407	409
退職給付に係る負債	357	367
その他	203	344
固定負債合計	968	1,122
負債合計	14,116	12,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,181	1,181
資本剰余金	1,015	1,015
利益剰余金	15,660	15,585
自己株式	△231	△231
株主資本合計	17,625	17,551
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	578	711
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	66	43
その他の包括利益累計額合計	644	755
純資産合計	18,270	18,307
負債純資産合計	32,386	30,643

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	8,130	6,848
売上原価	6,772	5,615
差引売上総利益	1,357	1,232
割賦販売未実現利益戻入額	34	27
割賦販売未実現利益繰入額	16	18
売上総利益	1,375	1,242
販売費及び一般管理費	907	906
営業利益	468	335
営業外収益		
受取利息	4	3
受取配当金	16	15
持分法による投資利益	0	5
貸倒引当金戻入額	23	26
その他	11	8
営業外収益合計	56	60
営業外費用		
支払利息	5	3
為替差損	13	8
その他	0	0
営業外費用合計	19	12
経常利益	505	383
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除却損	0	—
投資有価証券評価損	4	—
特別損失合計	4	—
税金等調整前四半期純利益	500	383
法人税、住民税及び事業税	49	45
法人税等調整額	126	87
法人税等合計	176	133
四半期純利益	324	250
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	324	250

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	324	250
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	144
繰延ヘッジ損益	△0	△0
為替換算調整勘定	14	△17
持分法適用会社に対する持分相当額	3	△15
その他の包括利益合計	28	110
四半期包括利益	353	361
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	353	361
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設機械事業	産業機器事業	砕石事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,905	5,090	134	8,130	—	8,130
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	15	7	—	23	△23	—
計	2,921	5,098	134	8,153	△23	8,130
セグメント利益	271	276	25	572	△103	468

(注) 1 セグメント利益の調整額△103百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	建設機械事業	産業機器事業	砕石事業	計		
売上高						
(1) 外部顧客への売上高	2,707	3,993	146	6,848	—	6,848
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	11	4	—	16	△16	—
計	2,719	3,998	146	6,864	△16	6,848
セグメント利益	207	210	36	455	△119	335

(注) 1 セグメント利益の調整額△119百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。